

福島県企業局ニューズレター (創刊号)



ホームページ
はこちらのQR
コードからお入
りください。

創刊に当たっての御挨拶 (福島県企業局 局長 市村 尊広)

福島県企業局の工業用水道を御利用いただき厚く御礼申し上げます。

この度、企業局では、安全・安心・安価な工業用水道を継続して安定供給していく取組について、受水企業の皆様によく知っていただくために広報紙「福島県企業局ニューズレター」を創刊しました。

福島県の工業用水道は、建設から60年が経過し老朽化という課題もあることから、更新工事等の予定や当局の財務情報など、広報紙等を通じて皆様と情報共有を進めてまいりたいと考えています。

皆様から信頼される企業局を目指し、今後も精進してまいりますので、引き続き御理解、御協力のほどお願いします。

【今回のトピック】

① 企業局の歩み～地域経済の発展を支える企業局～

② 令和4年度の決算状況の公表

③ 電気料金高騰に伴い料金改定を実施予定

～令和6年1月から電気料金分の料金上乘せのお知らせ～

④ トリチウム検査結果について～工業用水の安心に努めます～

⑤ ダムの貯水位に関する情報(渇水情報)

企業局の歩み

地域経済の発展を支える企業局

福島県企業局は、県民の生活と所得水準の向上、県土の均衡ある発展という県の目標実現に向けて、小名浜臨海工業団地及び同地区の工業用水道の整備を契機として昭和44年に発足し、

第1期磐城工業用水道、勿来工業用水道、小名浜工業用水道を知事部局から引き継いだ後、第2期磐城工業用水道、原町工業用水道、好間工業用水道、相馬工業用水道の整備を担ってきました。

現在は、磐城工業用水道、勿来工業用水道、小名浜工業用水道及び相馬工業用水道の4工業用水道で給水業務を担っている他、工業団地等を整備する地域開発事業や電気事業を行ってきました。

このように、工業用水道や工業団地等の産業基盤の整備を通して、県土の総合的な地域開発を推進するとともに企業立地の進展を通して1万人以上の新たな雇用を創出するなど県内経済の発展に大きく貢献してきました。

今後も、社会経済情勢の変化に的確に対応し、地域経済の発展に寄与してまいります。



小名浜臨海工業団地

令和4年度の決算状況を公表しました



沼部堰完成予想図

当局では、令和3年から10年間の計画期間とする『福島県企業局経営戦略』により課題の解決に取り組んでいます。

令和4年度は、沼部堰改修工事を始め、低廉で大量の工業用水を工場等へ安定的に供給するため、計画的に修繕や耐震工事等を実施しました。

工業用水道事業の決算については、令和4年10月に好間工業用水道をいわき市へ無償譲渡したことに伴い約18億円の純損失となりました。また、好間工業用水道を除いては、増量契約等により約5,250万円の純利益となりました。

なお、令和5年時点で工業用水に係る企業債の残高は137億円となっていることから、引き続き経営の改善に努めてまいります。

詳しくはホームページを御覧ください。

**電気料金高騰に伴い料金改定を実施予定
令和6年1月から電気料金分の料金上乗せのお知らせ**

現在の料金単価は、令和2年度に算定しましたが、ウクライナ情勢等による電気料金の高騰に伴い動力費が大幅に増加し、事業経営を

圧迫し工業用水道の安定供給に支障が出かねない状況となっています。

このため、次のとおり工業用水道料金を改定しますので、御理解と御協力をお願いいたします。

なお、相馬工業用水道では今回の料金の改定はありません。

工業用水	現行料金	令和6年1月からの料金(予定額)
磐城工水	13.2円/㎥	14.1円/㎥
勿来工水(南台)	8.7円/㎥	11.4円/㎥
勿来工水(南台以外)	4.8円/㎥	5.7円/㎥
小名浜工水	2.9円/㎥	3.8円/㎥

**ダムの貯水位に関する情報
(渇水情報)**

工業用水道の水源となっているダムのリアルタイムの貯水位については、こちらから御覧ください。

- 高柴ダム(磐城工水)
- 四時ダム(勿来工水)
- 真野ダム(相馬工水)



**企業局ではみなさまからのご意見をお待ちしています。
お気軽にご連絡ください。**

**トリチウム検査結果について
工業用水道の安心に努めます**

東京電力福島第一原子力発電所ALPS処理水の海洋排出に伴い、小名浜工業用水道では海水を供給していることから、トリチウムについて、検査機関へ分析を依頼しています。

採取分の海水について、分析の結果をお知らせします。なお、今後の分析結果はホームページで公表します。

工業用水道名	採水日	放射性トリチウム
小名浜工業用水道	2023.9.13	検出下限値未満(0.5Bq/L未満)